

▲とよま明治村や石ノ森草太郎ふるさと記念館などを見学する周遊バスには、試合を終えた選手たち約90人が参加



▲「おもてなしコーナー」では、地元産の食材を使用したばつと汁や豚汁が選手や来場者に無料で振る舞われました



▲屋外に開設した「健康づくり教室」のブース。血圧測定や体力測定が行われ、大勢の選手たちが参加しました



▲審判、ボランティア、運営など、500人を超える市民スタッフが3日間の大会を支えました



アリーナいっぱい設けられた24のコートで、14、15日の2日間、全国から集まった選手たちによる熱戦が繰り広げられました



▲13日に登米祝祭劇場で開催された開式。歓迎アトラクションでは奉曲（皖山会一首舎）、登米春蘭太鼓、YOSAKOI演舞（郷友連合とめっきゅう）を披露。YOSAKOI演舞では、4歳の男の子（手前左）が振る大旗が会場を沸かせました



▲対戦を終え互いの健闘を称え合う選手。勝ち負けだけではなく、交流大会を象徴する光景です



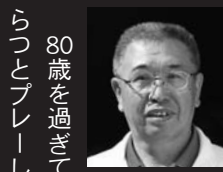
▲宮城県Bチーム、宮城県Dチームに監督・選手で出場した登米市の皆さん

全国から来た4県の人たちと対戦できて、とても楽しい時間を過ごせました。対戦した方々は私よりも年上だったので、皆さん強かったですね。この経験を生かし、これからも楽しく卓球を続けていきたいです。



選手（宮城県Dチーム）  
鹿野たまきさん  
（追町新町）

80歳を過ぎて皆さん、はつらつとプレーしている。その姿を見ると、自分も元気にやっという気持ちになりました。県内の人たちとの合同練習は、とても勉強になりました。これからも卓球を通じて健康づくりに努めていきたいですね。



選手（宮城県Bチーム）  
岩井栄一さん  
（津山町横山9区）

佐沼高校の2年、卓球部です。このねりんピック卓球交流大会のために公認審判員の資格を取りました。緊張しましたが、何とか無事に審判を務めることができてほっとしています。



審判員  
梶原啓佑さん  
（追町内町）



▲決勝は宮城県Aチームと仙台市Aチームとの県勢対決。結果は3対1で仙台市Aチーム（手前）が優勝